

タウンミーティング記録 未来に向けて 今、ここから

日 時 令和7年6月28日(土) 午後2時～3時30分

場 所 花の木中学校体育館

参加者 62人



主な意見等

-
- 1 昨年もお願いしたが、上福岡駅近くの踏切が中々あがらない。歩行者だけでもなんとかならないか。
-

(市長)

踏切周辺の構造を踏まえるとアンダーパスなどを通すのは難しいところです。歩行者や自転車だけでも通せる手段を検討できればと思うが一朝一夕に対応できない課題であり時間を有する問題です。繰り返しの回答になってしまいますが、ご要望として承りたい。

-
- 2 老朽化したインフラや新たな建物だけでなく、集会施設（地域の拠点）の老朽化も進んでいるため、優先度を上げて修繕または建て替えをお願いしたい。補助金や会費では賄えないため、市の全額補助により建て替えてほしい。
-

(市長)

集会施設は合併時にあり方が違っていました。不公平感が生じたため、自治組織連合会で数年間議論を重ね、2回の審議会を経て新たな集会施設のあり方を整理できたところです。将来的には、市に移管できるようにし、修繕費などを市が全額負担するようにしたいと考えています。施設の優先度は、大きな施設の着手を早めた方が総支出額が低くなるため、現在の状況となりました。公共施設の改修はすべて完了見込みのため、近いうちに自治組織の集会所にも着手できると思います。

3 市に移管が前提なのか。それがなければ修繕はできないのか。

(市長)

自治組織で所有権を有する場合、補助金の中で修繕していく形になります。その負担を軽減するための方法として、市に移管することで全額行政負担にすることができるものです。市に移管することは、市民全体の財産になるか、自治組織皆さんの財産になるかの違いとなります。

4 修繕の全額補助を出してほしい。

(市長)

修繕費はかなり出ていると思います。移管は地域の人たちの意思によりますし、移管しなくてもこれまでどおりの建て替えや修繕の補助金の制度は残ります。

5 共働き世帯の増加により、川崎の交通指導員（ボランティア）が年齢もあり、かなり厳しい状況になっている。市の方で指導員のスケジュール管理や募集などの創意工夫を考えてほしい。ボランティアが良いが、報酬の支払いなども検討してほしい。

(市長)

交通指導員として継続を図るのは難しいため、ボランティアとしても公募していくなど検討していきたいと思います。

6 市のウォーキングイベントやスポーツ団体の活動があるが、指導員の速度は速い。高齢者がついていけず、辞めてしまう人がいるように感じる。市でそのような活動の際に高齢者に配慮することを指導するなどしてほしい。

(市長)

指導者が高齢者をおざなりにしてしまうことがないように、文化・スポーツ振興課で全体的に配慮するよう伝えます。

7 こどもまんなか社会のための取組はあるか。強化期間である5月と10月の取り組みは何かあるか。

また、こどもまんなかサポーター制度の実施や各審議会の若者枠を作る検討はしているのか。

(市長)

国が示す前から私の政策の柱として、保育所の増設や放課後児童クラブの建て替えなど子ども優先の政策を行ってきました。こどもまんなか社会機運醸成のための市の取り組みは明確化していないが、これまで同様に子ども優先の政策を進めていきます。

審議会については、子ども枠はないが、内容によっては保護者枠があり、

年齢層の若い方に入っていただくこともあります。サポーター制度は現在実施していないです。

-
- 8 これまで、ふじみ野市が子育てするならふじみ野というキャッチフレーズがあるが、これからはふじみ野市で育った子供にとってふじみ野市が故郷となり癒されるような市づくりをしてほしい。ふじみ野市に住んで・引っ越して良かったと話しが出た時も、ご近所で話ができる人がいたからと聴きますので、子育てだけでなく、転入者へのコミュニケーションも大切にしてほしい。

また、現在の教育制度だと市外の中学・高校に行くことが多いので、ふじみ野市への愛着を持ちづらいのではないか。学校を卒業して全国で働いても故郷であるふじみ野市を忘れずに癒しを感じられるように市の課題として頑張ってもらいたい。

(市長)

先ほども申し上げたが、人と人とのつながりが希薄になってきています。学校の環境を変えたりしているが、おっしゃる通り子供たちがふじみ野市を誇りに思えることが大変重要だと思います。いろいろな団体の会合でもお話ししますが、子どもたちは地域住民の皆さんが汗をかいて頑張っている姿を見て、故郷への思いを育んでいると思います。そうした取り組みは、地域コミュニティを作っていくうえでのプラス面としていきたいと思っています。

-
- 9 タウンミーティングがこれまでは集会所でした。今年は体育館での実施で声が響きすぎるため、話している人の言葉が響いてよくわからない。体育館で行う際は配慮をお願いしたい。

(市長)

今年は 20 周年記念事業があるため、すべての集会施設へ伺うことが困難のため、各地域に分けて公共施設や体育館での実施とさせていただきました。基本は集会施設を伺うこととしたい。

-
- 10 マラソン大会の年齢枠は 60 代以上でつくっていたが、70 代以上の年齢枠を追加で設けてほしい。併せて、参加者の年齢も確認してほしい。

(市長)

担当部署経由で実行委員会に伝えておく。

-
- 11 他自治体は市の木や市の花が制定されているが、ふじみ野市では検討しているか。緑を増やす観点からも検討してください。

(市長)

市の花・木・鳥は検討していない状況です。かつては制定しているのこ

が多かったが、近年合併した市町村はつくられていないことが多いです。市の木は制定していないが、緑化保全の取り組みは行っています。20周年の節目を迎えることもあるので、市の花・木・鳥については持ち帰って検討します。

- 12 さぎの森小でも交通指導員が不足している。対応として人員確保以外にも、指導員がいなくとも安全に通学できるような道路整備など、別の角度からも検討してほしい。

また、近年猛暑が続いている。大人はクールビズがあるが、子どもたちへのクールビズがないように感じる。アスファルトからの距離が近いこともあり、大人よりも小学生は暑さを感じやすいと思う。例えば気温によってはランドセルをやめて、暑さ対策が出来るようなカバンで通学するなど斬新な取り組みをお願いしたい。

(市長)

暑さ対策の良い提案だと思うので教育委員会に伝えます。交通指導員の確保が難しい状況で、道路の整備や安全対策の観点から道路を安全にしていくことはとても良い提案だと思いますので、担当に伝えさせていただきます。